

# 私学助成署名推進ニュース

全国私立学校教職員組合連合  
No.2 2015年6月24日(水)

## 私学を無償に!! の想い集まる 大阪の文科相・府知事宛ハガキ運動

春の概算要求期に向け、全国各地で要請ハガキ・団体署名の取り組みが進んでいます。大阪から要請ハガキ運動の様子を伝えるNewsが届きました。

すべての高校生に学費無償を! 私学の教育労働条件改善のための私学助成を!

# 大私教News No.11

2015.6.23



〈編集・発行〉大私教小中高校専門学校部 執行委員会 Tel 06-6763-3201 Fax 06-6763-3206

## 文科大臣・大阪府知事宛要請ハガキ運動 桃山学院中高校で900枚を超える集約

「私学就学支援金、私学助成予算の増額、大阪府私立高校学費無償化制度の維持・拡充を求める」文科大臣・大阪府知事宛要請ハガキ運動で、桃山学院中高校では約900枚の要請ハガキが集約されて、「ひと言」欄に記された保護者の願いや要求のまとめ作業が進んでいます。その一例を紹介します。

- \* 共働きで税金を多く納めているため、全額自己負担している現状です。母親は仕事をやめた方がいいのではと思うことがあります。所得制限をなくして平等にしてほしいと思います。
- \* 賞金は上がらず、今後も大学資金も必要となって家計を圧迫します。高校生の学費無償の実現をお願いします。
- \* 夫婦頑張って働いてたくさんの住民税を納めているのに、全く補助がないのは不平等です!

- \* 子どもの可能性を最大限いかせるようにするため、親の収入に左右されず、平等にすべての生徒たちに勉強する機会を与えてください。
- \* 子どもたちは未来の担い手です。皆で育てなければなりません。
- \* 両親が正社員で働く家庭はかなりの負担です。所得制限をなくしてほしいです。世界の国々を比べてびっくりしました。  
桃山学院中高校では昨年に続いて、多くの要請ハガキの「ひと言」欄に要求が記されています。そして、その多くは「所得制限の廃止や所得制限に対する疑問・批判」の声とのことです。  
「すべての高校生の学費無償を」という要求は保護者の切実な要求であることが立証されていると思います。



### 大阪府知事宛要請ハガキ提出集会

日時：7月6日(月)  
場所：大阪府社会福祉会館

- 内容
- ・主催者あいさつ
  - ・私学課紹介(自己紹介)
  - ・ハガキ提出(手渡し)と私学課への要請
  - ・ハガキ提出を受けて、私学課からの話
  - ・参加者からの質疑と私学課の答弁
  - ・大私教からの訴え(秋の署名活動など)
  - ・閉会のあいさつ

各分会・すすめる会からの多数の参加を!

### 学費の公私間格差・自治体間格差を考える 院内集会

\*日時 7月10日(金)  
11:00~12:20

\*会場 衆議院第1議員会館  
多目的ホール

\*内容 全国私教連からの基調報告  
各議員のあいさつ  
保護者・生徒・教職員からの訴え

各分会・すすめる会からの参加をお願いします。



大阪は、全国でも有数の「学費減免制度」をもっていることは、周知の通りです。しかし、2009年創設の国の特別交付金「修学支援基金」が2014年度で廃止されたことを理由に、2016年度から、この学費減免制度の所得制限基準を下げようという動きが出ています。

府のこの動きにノーマルを突きつける上で、今年春の運動は重要です。

ハガキには、現在の制度でも学費問題が厳しいという声、特に所得制限基準を上回る世帯からの切実な声が寄せられています。

## 自治体向けの争点を重視した春の要請運動をすすめてよう!!

2014年度、独自予算を削減された都道府県では、それを復活させるためにも、現在の授業料減免制度を拡充させる事が重要です。

同時に、どの地域に生まれても等しく私学を選ぶことができるようにするためには、国による保障が充実することが必要です。

全国で春の要請運動の力を強めましょう!!